

# 日赤 ドクターカー運行

## 救急活動現場からの報告

平成25年5月13日、北見赤十字病院(日赤)は北見地区消防組合と連携協定を結び、オホーツク管内初のドクターカーの運行を始めた。

道内のドクターカーの導入は札幌市、旭川市、に次ぎ3番目。日赤が救急車の改造費や積載関連費など合わせて約3200万円をかけて、

1台を整備した。

日赤の運用窓口は医事課で。今日は医事係長兼外来係長・渋谷尚紀さんを訪ねて、その運用のお話を伺った。

逢坂 一般論で申し訳ないのですが、救急車とドクターカーの違いなどからお話を伺いたいのです。

渋谷 車両自体に関してはドクターカー

も救急車もおなじです。ドクターが乗って入れればドクターカー、乗っていなければ救急車という呼び方で結構です。

今回、うちの病院で導入している周産期救急ドクターカーは、周産期の患者さんに対応することが主目的ですが、周産期以外の事案にもドクターカーやナースが必要という基準に合致すれば出動する体制を整えております。

逢坂 最初の出動はどんな状況であったか、プライバシーに差し支えない範囲でお話を戴きたいのですが。

渋谷 運用を開始してから暫く要請はなく、6月24日に初めて、ドクターカー

要請があり出動し

ております。このときは周産期以外の事案だったのですが、ドクターとナースがピックアップされて現場にいておりません。今のところはその1件だけです。



詳しくは、北見市内で午前10時ごろドクターカー要請がありました。

挟まれ事故で、脱出困難な状態の為、先生にきてほしいという内容でしたので、すぐに当番の医師と看護師を招集して、出発しました。

現場には地元の消防の救急車が出動し

ていまして、それを追いかけるような形でドクターカーが向かいました。

逢坂 ドクターカー運営の将来ビジョンなど如何でしょう。

渋谷 このオホーツク圏域というのは産科の医師や施設が少なく、例えば斜里方面の人が子供を生みたいとなったら、網走まで行かなければならない状況があります。

またこの辺で言えば美幌、津別の方々の多くは北見の施設にきています。そこをこの周産期救急でカバーしていくかと言うことを考え、転院搬送も主目的のひとつとして入れていきます。

遠方の施設間搬送においても、ドクターカーが出動して途中でランデブーしてつれて帰ってくるような使い方も将来的にできれば、もっと安心で安全な分娩、

出産が出来ると考えています。

逢坂 来年、新病院が開院します。ドクターカーの運用にも変化があるのでしようか。

渋谷 来年は新病院がオープンし、その後、南館の改修を致します。それが出来たら、救急ワ

病者が呼吸をしていない、心臓が動いていない状態に陥ったとき、胸骨圧迫と人口呼吸にAEDを組み合わせて、救命する処置。この貴重な体験を市民の皆さんに広くPRしなければと考えています。

## 知っておきたい A E D 初めての体験



平成25年4月10日、当会の例会があり、その折、北見赤十字病院の総務課主事・佐藤圭悟さんの指導を受けて、AEDを使った心肺蘇生の救命処置を初めて体験しました。心肺蘇生とは、傷

病者が呼吸をしていない、心臓が動いていない状態に陥ったとき、胸骨圧迫と人口呼吸にAEDを組み合わせて、救命する処置。この貴重な体験を市民の皆さんに広くPRしなければと考えています。

イクステーションで運用する構想を持っています。

谷川 まだまだお伺いしたいことが有るので、紙面の関係でまたの機会にお願いしたいと思っています。

本日はご多忙の処、有り難うございました。

